
大会長講演	第 1 会場 (4F マリンホール)	第 1 日/10 月 1 日 (木)	8 : 50~9 : 15
-------	--------------------	--------------------	---------------

座長：柿田 明美 (新潟大学脳研究所)

PL 一人ひとりが輝くてんかん医療

Epilepsy care where each individual inspires one another grow

○遠山 潤

国立病院機構西新潟中央病院神経小児科

海外招待講演 1	第 1 会場 (4F マリンホール)	第 1 日/10 月 1 日 (木)	11 : 00~12 : 00
----------	--------------------	--------------------	-----------------

座長：加藤 光広 (昭和医科大学医学部小児科学講座)

IL1 Infantile and epileptic spasms syndrome : update on mechanisms and treatments

○Aristea S. Galanopoulou

Neurology and Neuroscience, Albert Einstein College of Medicine, Bronx NY, USA

海外招待講演 2	第 1 会場 (4F マリンホール)	第 2 日/10 月 2 日 (金)	10 : 50~11 : 50
----------	--------------------	--------------------	-----------------

座長：山内 秀雄 (埼玉医科大学小児科)

IL2 Shaping Complexity : Navigating the Diagnosis of DEEs

○Nicola Specchio

Bambino Gesù Children's Hospital

海外招待講演 3	第 1 会場 (4F マリンホール)	第 3 日/10 月 3 日 (土)	10 : 45~11 : 45
----------	--------------------	--------------------	-----------------

座長：大石 誠 (新潟大学脳研究所脳神経外科学分野)

IL3 脳波なくしててんかん学は語れない

Epilepsy cannot exist without EEG

○大坪 宏

トロント小児病院

特別講演 1	第 1 会場 (4F マリンホール)	第 1 日/10 月 1 日 (木)	16 : 45~17 : 45
--------	--------------------	--------------------	-----------------

座長：齋藤 伸治 (名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野)

SL1 てんかんと遺伝子異常

Epilepsy Genetics : From Diagnosis to Precision Medicine

○才津 浩智

浜松医科大学医学部医学科

大会長講演

海外招待講演

特別講演

特別講演 2 **第 1 会場 (4F マリンホール)** **第 2 日/10 月 2 日(金)** **17 : 10~18 : 10**

座長：重藤 寛史（九州大学大学院医学研究院保健学部門/九州大学病院脳神経内科）

- SL2** **アルツハイマー病とてんかんの連続性を再考する**
 Redefining the relationship between Alzheimer's disease and epilepsy
 ○池内 健
 新潟大学脳研究所遺伝子機能解析学

特別教育講演 **第 3 会場 (2F メインホール B)** **第 1 日/10 月 1 日(木)** **17 : 50~18 : 25**

座長：夏目 淳（名古屋大学障害児（者）医療学寄附講座）

- SP** **自動車運転に関する抗てんかん発作薬の添付文書改訂について**
 Revision of the drug information on driving for antiseizure medications
 ○川合 謙介
 自治医科大学

教育講演 1 **第 3 会場 (2F メインホール B)** **第 1 日/10 月 1 日(木)** **10 : 25~11 : 10**

座長：重藤 寛史（九州大学大学院医学研究院保健学部門/九州大学病院脳神経内科）

- EL1** **てんかん診療ガイドライン 2026 のすべて**
 Diagnosis and treatment of epilepsy Japanese guideline 2026
 ○赤松 直樹
 国際医療福祉大学医学部脳神経内科

教育講演 2 **第 3 会場 (2F メインホール B)** **第 1 日/10 月 1 日(木)** **11 : 15~12 : 00**

座長：山崎 悦子（国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター）

- EL2** **高齢者てんかん (LOEU とは?)**
 Late-onset epilepsy (What is LOEU?)
 ○溝渕 雅広^{1,2)}
 1) 南一条脳内科 2) 中村記念病院てんかんセンター

教育講演 3	第 1 会場 (4F マリンホール)	第 1 日/10 月 1 日(木)	17:50~18:20
--------	--------------------	-------------------	-------------

座長：太組 一朗 (聖マリアンナ医科大学脳神経外科)

EL3 Cannabidiol : An update on clinical development and real-world evidence

○Lisa Moore-Ramdin¹⁾、Michael Boffa²⁾、Kishan Vyas¹⁾、Farhad Sahebkar³⁾

1) Jazz Pharmaceuticals, UK Ltd., London, UK 2) Jazz Pharmaceuticals, Inc., Palo Alto, CA, USA

3) Jazz Pharmaceuticals, Inc., Carlsbad, CA, USA

教育講演 4	第 3 会場 (2F メインホール B)	第 1 日/10 月 1 日(木)	16:45~17:45
--------	----------------------	-------------------	-------------

てんかんと法的問題

座長：渡邊 さつき (横浜こころと脳波・てんかんのクリニック)

EL4-1 てんかんと就労に関わる資格

Employment-related qualifications for people with epilepsy

○山本 啓之

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院小児科

EL4-2 てんかんと運転：判例分析からみた事故予防の課題——次予防の重要性——

Epilepsy and Driving : Lessons from Case Law for Accident Prevention—The Importance of Primary Prevention

○馬場 美年子

慶應義塾大学医学部総合医科学研究センター

教育講演 5	第 3 会場 (2F メインホール B)	第 2 日/10 月 2 日(金)	9:00~9:45
--------	----------------------	-------------------	-----------

座長：高橋 悟 (旭川医科大学小児科)

EL5 発達性てんかん性脳症の理解を深める

Understanding Developmental and Epileptic Encephalopathy : Current Concepts and Perspectives

○日暮 憲道

武蔵小杉小児科・てんかんクリニック

教育講演 6 **第 3 会場 (2F メインホール B)** **第 2 日/10 月 2 日 (金)** **9 : 50~10 : 35**

座長：飯田 幸治 (広島大学病院てんかんセンター)

EL6 **知的発達症を持つ成人てんかんの診療**

Management of Epilepsy in Adults with Intellectual Disability

○辻 富基美

わかやま友田町クリニック

教育講演 7 **第 3 会場 (2F メインホール B)** **第 2 日/10 月 2 日 (金)** **10 : 40~11 : 25**

座長：三國 信啓 (札幌医科大学脳神経外科)

EL7 **Brain Computer interference とてんかん医療**

Brain Computer Interface and epilepsy treatment

○柳澤 琢史

大阪大学大学院医学系研究科脳神経外科

教育講演 8 **第 3 会場 (2F メインホール B)** **第 2 日/10 月 2 日 (金)** **11 : 30~12 : 15**

座長：伊藤 ますみ (社会医療法人母恋天使病院)

EL8 **てんかんと睡眠**

Epilepsy and Sleep

○高木 俊輔

東京科学大学精神行動医科学分野

教育講演 9 **第 3 会場 (2F メインホール B)** **第 2 日/10 月 2 日 (金)** **17 : 00~17 : 45**

座長：稲葉 雄二 (長野県立こども病院)

EL9 **これっててんかん発作？ てんかん発作と非てんかん性イベントとの鑑別**

Is this an epileptic seizure? Distinguishing between epileptic seizures and non-epileptic events

○奥村 彰久

愛知医科大学医学部小児科

教育講演 10 **第 3 会場 (2F メインホール B)** **第 2 日/10 月 2 日(金)** **17 : 50~18 : 35**

座長：寺田 清人（てんかんと発達の横浜みのる神経クリニック）

EL10 **病歴聴取の極意～正しいてんかん診断のために～**

Secret of history taking for the correct diagnosis of epilepsy

○神 一敬

東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野

教育講演 11 **第 3 会場 (2F メインホール B)** **第 3 日/10 月 3 日(土)** **9 : 00~9 : 45**

座長：久保田 有一（東京女子医科大学附属足立医療センター）

EL11 **Critical Care EEG の適切な判読と活用**

How to read and utilize critical care EEG

○吉村 元

神戸市立医療センター中央市民病院脳神経内科

教育講演 12 **第 3 会場 (2F メインホール B)** **第 3 日/10 月 3 日(土)** **9 : 50~10 : 35**

座長：宮田 元（秋田県立循環器・脳脊髄センター脳神経病理学研究部）

EL12 **見つける MRI から、見極める MRI へーてんかん診療のための大脳皮質解剖**

From Detecting Lesions on MRI to Interpreting MRI Critically : Cortical Anatomy for Epilepsy Practice

○小野 智憲^{1,2,3)}

1)NHO 長崎医療センター臨床研究センター機能形態発達研究部

2)NHO 長崎医療センターてんかんセンター 3)NHO 長崎医療センター脳神経外科

教育講演 13 **第 3 会場 (2F メインホール B)** **第 3 日/10 月 3 日(土)** **14 : 15~15 : 00**

座長：金澤 恭子（国立精神・神経医療研究センター）

EL13 **脳波判読のポイント**

Key Points in EEG Interpretation

○下竹 昭寛

国立病院機構宇多野病院

教育講演 14 第 3 会場 (2F メインホール B) 第 3 日/10 月 3 日(土) 15 : 05~15 : 50

座長：福興 なおみ (東北医科薬科大学)

EL14 非精神科医のためのてんかんに併存する精神症状とその対処法

Psychiatric symptoms associated with epilepsy : Clinical perspectives for non-psychiatrists

○須田 哲史

国家公務員共済組合連合会立川病院精神神経科

シンポジウム 1 第 1 会場 (4F マリンホール) 第 1 日/10 月 1 日(木) 9 : 20~10 : 50

てんかん研究のための解析手法入門
An Introduction to Analytical Methods for Epilepsy Research

オーガナイザー：曾根 大地 (順天堂大学医学部精神医学講座)

座長：堀之内 徹 (北海道大学病院精神科神経科)

石橋 はるか (広島大学大学院医系科学研究科)

【趣旨・狙い】

私たちは学会において、脳波や画像、遺伝子などの最先端の研究解析の“結果”を享受することができるが、その具体的な解析手法について理解している者はあくまで少数の専門家だけに留まる場合が多い。そのため、特に臨床医や研究初心者にとって、専門的な解析ソフト等には馴染みが薄く、研究への敷居が高くなってしまっている可能性がある。また、専門的な研究者にとってさえ、別分野の解析の実情については詳しくないことも多いだろう。本シンポジウムは研究結果でなく方法に着眼したセッションで、各研究解析手法の原則や具体的なやり方について、脳波解析、脳画像解析、遺伝子解析、系統的レビュー/メタ解析を取りあげ、それぞれの研究者が手法について解説する。今後の研究の裾野を広げ、モダリティ横断的な研究も促進されることが期待される。

SY1-1 初学者のための脳波解析入門：てんかん研究への第一歩

A First Step into Epilepsy Research through EEG Analysis

○園田 真樹

横浜市立大学大学院医学研究科脳神経外科学

SY1-2 てんかん研究のための脳画像解析手法入門

An Introduction to Neuroimaging Analysis for Epilepsy Research

○曾根 大地

順天堂大学医学部精神医学講座

SY1-3 てんかん研究のための遺伝子解析手法入門

An introduction to genetic analysis methods for epilepsy research

○加藤 光広^{1,2)}

1) 昭和医科大学医学部小児科学講座 2) 昭和医科大学病院てんかん診療センター

SY1-4 てんかん研究のためのシステマティックレビュー/メタアナリシス入門

An Introduction to Systematic Reviews and Meta-Analyses for Epilepsy Research

○久保田 隆文

東北大学大学院医学系研究科神経内科学分野/てんかん学分野

シンポジウム 2

第 4 会場 (2F 中会議室 201) 第 1 日/10 月 1 日 (木)

10:30~12:00

てんかんネットワークの解明**Network of epilepsy**

座長・コーディネーター：福多 真史 (国立病院機構西新潟中央病院脳神経外科)

座長：前澤 聡 (国立病院機構名古屋医療センター)

【趣旨・狙い】

近年てんかん外科において、てんかん原性領域の概念は従来のゾーンからネットワークへと変わってきている。てんかん外科治療の予後向上のためには、様々なモダリティを用いて、てんかんネットワークをいかに可視化できるかが重要なポイントとなる。このシンポジウムでは、現時点でのてんかんネットワークの解明がどこまで進んでいるかを 4 人のシンポジストの先生とともに共有し、今後の研究につなげていくセッションとしたい。

SY2-1 SEEG と GluCEST で可視化するてんかん原性ネットワーク：電気生理と代謝の重なり

Visualizing the Epileptogenic Network with SEEG and GluCEST: Convergence of Electrophysiology and Metabolism

○伊藤 陽祐¹⁾、福多 真史¹⁾、大野 健²⁾、太田 智慶¹⁾、渡邊 将樹²⁾、松田 豪³⁾、
畠山 公大⁴⁾、増田 浩¹⁾、北浦 弘樹⁶⁾、柿田 明美⁵⁾、島田 齊⁴⁾、大石 誠⁷⁾、
五十嵐 博中⁴⁾

1) 国立病院機構西新潟中央病院機能脳神経外科

2) 新潟大学脳研究所脳病態データサイエンス分野

3) 国立大学法人弘前大学グローバル Well-being 総合研究所

4) 新潟大学脳研究所脳解析技術応用学分野 5) 新潟大学脳研究所病理学分野

6) 公立小松大学保健医療学部臨床工学科 7) 新潟大学脳研究所脳神経外科

SY2-2 Cerebro-cerebral evoked potential を用いたてんかんネットワーク解析

Cerebro-Cerebral Evoked Potentials for Epilepsy Network Analysis

○十河 正弥

神戸大学大学院医学研究科脳神経内科

SY2-3 焦点性てんかんにおける発作時意識保持機構の解明—安静時視床 CM 核-皮質ネットワークへの着目—

Resting thalamocortical network analysis for understanding consciousness preservation during focal seizures

○高山 裕太郎^{1,2)}、上原 一将³⁾、本田 純也³⁾、Mithani Karim¹⁾、北城 圭一^{4,5)}、岩崎 真樹⁶⁾、山本 哲哉²⁾、Ochi Ayako¹⁾、Otsubo Hiroshi¹⁾、Ibrahim George¹⁾

1) The Hospital for Sick Children Research Institute, Program in Neuroscience

2) 横浜市立大学大学院医学研究科脳神経外科 3) 豊橋技術科学大学情報・知能工学系

4) 生理学研究所システム脳科学研究領域神経ダイナミクス研究部門

5) 総合研究大学院大学先端学術院生理科学コース

6) 国立精神・神経医療研究センター病院脳神経外科

SY2-4 てんかん原性ネットワークの広がり揺らぎ—SEEG 発作時脳波解析からみる多様性— Spread and fluctuation of the epileptogenic network : Diversity revealed by ictal SEEG analysis

○石崎 友崇^{1,2,3)}、濱崎 一⁴⁾、前澤 聡⁵⁾、齋藤 竜太^{1,2,3)}

1) 名古屋大学大学院医学系研究科脳神経外科 2) 名古屋大学医学部附属病院てんかんセンター

3) 名古屋大学脳とこころの研究センター

4) 奈良先端科学技術大学院大学メディルクス研究センター 5) 名古屋医療センター脳神経外科

シンポジウム 3 第 5 会場 (3F 中会議室 301) 第 1 日/10 月 1 日(木) 10:30~12:00

てんかんの救急医療

Emergency Management of Epilepsy

座長兼オーガナイザー：藤本 礼尚 (獨協医科大学病院脳神経外科)

座長：今高 城治 (獨協医科大学医学部小児科学)

【趣旨・狙い】

てんかん診療では、てんかん重積状態や発作関連外傷など急を要する事態が生じ得る。しかし、これまで「てんかん救急」という視点を専従者間で体系的に共有する機会は必ずしも多くなかった。本シンポジウムでは、小児・成人それぞれにおける緊急対応やレスキュー薬の適切な使用法について、各分野のエキスパートより講演を賜る。さらに討論を通じて、てんかん救急の概念と実践的対処法を共有し、日常診療に還元することを目的とする。

SY3-1 小児てんかんの救急診療の特徴と実際

Characteristics and Practice of Emergency Care for Pediatric Epilepsy

○菊池 健二郎^{1,2)}

1) 埼玉県立小児医療センター神経科 2) 埼玉県立小児医療センター小児てんかんセンター

SY3-2 成人てんかんの救急医療—見逃してはならない病態と診療連携—

Emergency Management of Epilepsy in Adults : Recognizing Critical Conditions and Optimizing Care Pathways

○星山 栄成^{1,2)}

1) 獨協医科大学病院脳神経内科 2) 獨協医科大学病院救命救急・集中治療センター

SY3-3 てんかん発作急性期の薬物治療—遷延発作に対する治療

Pharmacological Treatment During the Acute Phase of an Epileptic Seizure—Treatment for Prolonged Seizures

○中川 栄二

国立精神・神経医療研究センター病院てんかん診療部

シンポジウム 4**第 4 会場 (2F 中会議室 201) 第 1 日/10 月 1 日(木)****16 : 45 ~ 18 : 15****てんかんニューロモデュレーション治療：日本での現状と展望****Neuromodulation Therapy for Epilepsy : Current Landscape and Future Directions in Japan**

座長兼オーガナイザー：小林 勝哉（京都大学医学部附属病院脳神経内科）

座長：大沢 伸一郎（東北大学病院脳神経外科）

【趣旨・狙い】

抗てんかん発作薬や焦点切除術で十分な発作制御が得られない難治てんかん患者に対し、ニューロモデュレーション治療は今や欠かせない選択肢である。欧米では外科治療の主軸となりつつある一方、本邦では迷走神経刺激療法(VNS)の上市から15年以上、脳深部刺激療法(DBS)の承認から約3年が経過した。発作感応型脳刺激療法(RNS)は依然未承認であり、非侵襲的アプローチを含め、国内の普及や臨床応用にはなお課題が多い。本シンポジウムでは、これら4つの潮流を牽引する国内エキスパートを招聘し、本邦におけるてんかんニューロモデュレーション治療の現在地、国際動向、今後期待される展望について、参加者とともに議論したい。

SY4-1 日本における迷走神経刺激療法 (VNS) の位置付けと将来展望

Vagus Nerve Stimulation Therapy in Japan : Current Landscape and Future Directions

○迎 伸孝¹⁾、下川 能史^{1,2)}、桑原 和久¹⁾、柳田 暢志¹⁾、渡邊 恵利子³⁾、酒田 あゆみ^{3,4)}、重藤 寛史⁵⁾、森岡 隆人⁶⁾、吉本 幸司¹⁾

1) 九州大学大学院医学研究院脳神経外科 2) 新古賀病院脳神経外科 3) 九州大学病院検査部

4) 九州大学大学院医学研究院保健学部門検査技術科学分野

5) 九州大学大学院医学研究院脳神経内科 6) 蜂須賀病院脳神経外科

SY4-2 脳深部刺激療法 (DBS) は日本のてんかん治療をどう変えるか

How Will Deep Brain Stimulation (DBS) Transform Epilepsy Treatment in Japan?

○田村 健太郎

国立病院機構奈良医療センターてんかんセンター/脳神経外科

SY4-3 発作感応型脳刺激療法 (RNS) の国際的動向と今後の展望

Future Prospects of Responsive Neurostimulation (RNS) in Japan

○稲次 基希、折原 あすみ

東京科学大学脳神経外科

SY4-4 てんかんに対する非侵襲的ニューロモデュレーション治療の現状と未来

The Current State and Future of Non-Invasive Neuromodulation Therapies for Epilepsy

○武山 博文

京都大学医学部附属病院脳神経内科

シンポジウム 5**第 1 会場 (4F マリンホール) 第 2 日/10 月 2 日(金)****9 : 00~10 : 40****限局性皮質異形成 (FCD) の治療成績向上に向けて****Toward Improving Treatment Outcomes for Focal Cortical Dysplasia (FCD)**

座長兼コーディネーター：岩崎 真樹 (国立精神・神経医療研究センター病院脳神経外科)

座長：菊池 隆幸 (京都大学大学院医学研究科脳神経外科学)

【趣旨・狙い】

限局性皮質異形成(focal cortical dysplasia : FCD)は、小児期に発症する薬剤抵抗性てんかんの代表的な原因の一つであり、外科治療の対象として最も多いものである。FCD の画像診断は難しく、外科治療は常にチャレンジングである。近年、分子遺伝学的な理解が進んだことにより疾患の概念や分類が進歩し、画像診断や外科治療の技術的進歩も著しい。本シンポジウムは、FCD の治療成績向上を目指して、その診断と治療における最前線の知見を共有する。

SY5-1 Advanced MR Imaging and Post-Processing Techniques for the Diagnosis of Focal Cortical Dysplasia

○Zhong Irene Wang

Cleveland Clinic Foundation

SY5-2 FCD の遺伝学的背景と分子標的治療の可能性

The genetic background of FCD and the potential for molecular-targeted therapy

○加藤 光広^{1,2)}

1) 昭和医科大学医学部小児科学講座 2) 昭和医科大学病院てんかん診療センター

SY5-3 MOGHE の診断と治療

Diagnosis and Treatment of MOGHE

○飯島 圭哉¹⁾、有蘭 英里²⁾、木村 有喜男²⁾、佐藤 典子²⁾、八木田 薫³⁾、佐野 輝典³⁾、
高尾 昌樹³⁾、馬場 信平⁴⁾、小牧 宏文⁴⁾、村山 久美子⁵⁾、佐久間 美帆⁶⁾、田部 直央⁶⁾、
宮下 聡⁶⁾、星野 幹雄⁶⁾、岩崎 真樹¹⁾

- 1) 国立精神・神経医療研究センター病院脳神経外科
- 2) 国立精神・神経医療研究センター病院放射線診療科
- 3) 国立精神・神経医療研究センター病院臨床検査部
- 4) 国立精神・神経医療研究センター病院脳神経小児科
- 5) 国立精神・神経医療研究センターメディカルゲノムセンター
- 6) 国立精神・神経医療研究センター神経研究所病態生化学研究部

SY5-4 限局性皮質異形成に対する SEEG の適応と戦略

Indication and strategy for SEEG in focal cortical dysplasia

○萩原 綱一¹⁾、三好 絢子¹⁾、上原 平¹⁾、白水 洋史^{1,2,3)}

- 1) 福岡山王病院てんかん・すいみんセンター
- 2) 福岡山王病院機能脳神経外科センター/視床下部過誤腫センター
- 3) 福岡山王病院脳神経外科

SY5-5 FCD の外科戦略：切除範囲、侵襲的検査の適応

Surgical strategy for focal cortical dysplasia (FCD) : extent of resection and indication of intracranial EEG

○臼井 直敬

NHO 静岡てんかん・神経医療センター

シンポジウム 6

第 2 会場 (2F メインホール A) 第 2 日/10 月 2 日(金)

9:00~10:30

神経学と精神医学の双方からみる機能性/解離性発作

Functional/Dissociative Seizures: Approaches from Both Neurology and Psychiatry

オーガナイザー: 原 広一郎 (静和会浅井病院精神科)

高木 俊輔 (東京科学大学精神科)

座長: 朴 秀賢 (新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野)

油川 陽子 (中村記念病院脳神経内科てんかんセンター)

【趣旨・狙い】

心因性非てんかん発作(PNES)の多くは変換症や解離症として捉えられますが、意図的な症状産出と誤解されたり、治療法がわかりにくく対応に迷うことも少なくありません。一方、DSM-5 では変換症に機能性神経学的症状症という呼称が併記され、2025 年 ILAE が PNES に替えて機能性/解離性発作(Functional/Dissociative Seizures、FDS)という名称を提唱し、神経学と精神医学の境界領域として再び注目を集めています。本シンポジウムは神経学と精神医学の双方向から PNES、とくに機能性神経学的症状症および解離症の病態と治療について整理を試み、双方の臨床知を統合し治療に還元することを目的に企画しました。

SY6-1 神経学の視点から機能性/解離性発作を理解する

A Neurological Perspective on Functional/Dissociative Seizures

○音成 秀一郎^{1,2)}

1) 広島大学病院脳神経内科 2) 広島大学病院てんかんセンター

SY6-2 精神医学では機能性神経学的症状症・解離症をどう捉え、治療してきたか

How have been functional neurological symptom disorder and dissociative disorders conceptualized and treated by psychiatry?

○高木 俊輔

東京科学大学精神行動医科学分野

SY6-3 脳神経外科医の立場から考える機能性/解離性発作についての課題

Functional/Dissociative Seizures: Practical Issues Encountered in Neurosurgical Practice

○岡原 陽二¹⁾、桃木 幸彦¹⁾、岩佐 博人^{1,2)}、前田 紘一郎^{1,3)}、栗原 聡^{1,3)}、樋口 佳則^{1,3)}、青柳 京子¹⁾

1) 千葉県循環器病センター脳神経外科 2) 浅井病院精神科

3) 千葉大学大学院医学研究院脳神経外科学

SY6-4 機能性/解離性発作への精神科的対応

Psychiatric Management of Functional/Dissociative Seizures

○原 広一郎

浅井病院精神科

シンポジウム 7

第 4 会場 (2F 中会議室 201) 第 2 日/10 月 2 日(金)

9:00~10:30

日本てんかん学の国際的プレゼンス向上を考える

How can we enhance the international presence of the Japanese Epilepsy Society?

オーガナイザー：曾根 大地（順天堂大学医学部精神医学講座）

座長：川合 謙介（自治医科大学）

藤川 真由（慶應義塾大学医学部医科学研究連携推進センター）

【趣旨・狙い】

学術領域における日本の国際的地位は近年下降の一途をたどっており、国際的な競争力に課題がみられる。最新のデータにおいて、論文数は 5 位であるものの、被引用数の多いトップ 10% 論文数で 13 位まで順位が下降し、てんかん学においても以前に比べ、国際学会における日本人のスピーカーの数は減少している。様々な国が頭角を現すことは良いことだが、日本のプレゼンスが相対的に下がり続けていることは由々しき事態である。本シンポジウムは、まず ILAE における JES の現在地、若手てんかん従事者部門 (ILAE-YES) における Japan の現在地、てんかん研究における日本のプレゼンス向上、国際的視点から見た日本のてんかん臨床の 4 演題で構成され、JES や日本のてんかん臨床・研究の国際的プレゼンス向上について活発な議論を行いたい。

SY7-1 視座を高く

Take a higher perspective

○中里 信和

広南病院

SY7-2 若手視点から再考する“Japan as No.1” 一次世代が拓く日本てんかん学の国際的プレゼンス—

Shaping the Future International Presence of Japanese Epileptology : Perspectives from the Next Generation

○黒田 直生人

ウェイン州立大学小児科

SY7-3 日本のてんかん研究の国際的プレゼンス向上に向けて

Towards Enhancing the Global Presence of Japanese Epilepsy Research

○曾根 大地

順天堂大学医学部精神医学講座

SY7-4 日本人てんかん医の国際的プレゼンス向上にむけて

Toward Enhancing the International Presence of Japanese Epileptologists

○Hiroki Nariai

Department of Pediatrics, David Geffen School of Medicine, University of California, Los Angeles

シンポジウム 8

第 2 会場 (2F メインホール A) 第 2 日/10 月 2 日 (金)

10 : 45 ~ 12 : 15

自己免疫性脳炎の検出率を高め予後を改善するための課題

Challenges to increase the detection rate and improve the prognosis of autoimmune encephalitis

座長・コーディネーター：中野 美佐（市立吹田市民病院脳神経内科）

座長：三枝 隆博（大阪市立総合医療センター脳神経内科）

【趣旨・狙い】

自己免疫性脳炎は近年様々な自己抗体が判明し、抗体ごとに呈する臨床症状も明らかになってきた。早期に効果的な免疫療法を施行することが、その後の症候性てんかんの予後も改善することも報告されている。しかし実際には自己免疫性脳炎が検出されるまでに時間を要する、あるいは気づかれていない事例が少なくないことも事実である。今回自己免疫性脳炎の neuroICU における診断、臨床的特徴、早期診断のためのスコアリング、特徴的な脳波異常、画像診断と治療、自己免疫性脳炎で検出される自己抗体について各専門の先生からご発表頂く。自己免疫性脳炎に対する見識を深めることで、その検出率を高め適正な治療に結び付くことを期待する。

SY8-1 NeuroICU 視点で自己免疫性脳炎をどう診るか

Approach to Autoimmune Encephalitis from a NeuroICU Perspective

○藤本 佳久^{1,2)}

1) 聖マリアンナ医科大学救急医学 NeuroICU team 2) 杏林大学付属病院高度救命救急センター

SY8-2 Scoring-Based Early Screening for Seizure-Predominant Autoimmune Encephalitis

○Masanobu Tanemoto, Kazuki Yokokawa, Taro Saito, Naotoshi Iwahara, Syuuichirou Suzuki, Shin Hisahara

Department of Neurology, Sapporo Medical University School of Medicine

SY8-3 自己免疫性脳炎の脳波異常

EEG findings in autoimmune encephalitis

○下竹 昭寛

国立病院機構宇多野病院

SY8-4 自己免疫性脳炎の画像診断と治療

Imaging and Treatment of Autoimmune Encephalitis

○三枝 隆博

大阪市立総合医療センター脳神経内科

SY8-5 自己免疫性脳炎の抗体診断—有用性とピットフォール—

Antibody testing in autoimmune encephalitis : Utility and pitfalls

○原 誠

日本大学医学部内科学系神経内科学分野

シンポジウム 9

第 1 会場 (4F マリンホール) 第 2 日/10 月 2 日(金)

14:50~15:55

てんかん外科、SEEG

Champion case and problem case-1

オーガナイザー：福多 真史（国立病院機構西新潟中央病院脳神経外科）

座長：大石 誠（新潟大学脳研究所脳神経外科学分野）

菅野 彩（札幌医科大学脳神経外科）

【シンポジウム9、10、14 趣旨・狙い】

近年本邦でも SEEG の普及が進んでいるが、欧米ですでに使用されているような、より細い深部電極や電極固定のためのデバイスについては使用制限がある。現時点での SEEG の有用性や安全性を確認するために、SEEG が良好な発作予後につながったような champion case や SEEG による合併症や問題点があった problem case を共有することにより、今後の本邦での SEEG の発展に寄与できるようなセッションとしたい。

SY9-1 小児難治てんかんに対する SEEG の技術的課題と周術期管理—自験例 5 例からの検討—
 Technical considerations and perioperative management of stereoelectroencephalography in pediatric drug-resistant epilepsy : a case series of five patients

○大谷 啓介¹⁾、佐藤 信¹⁾、石下 洋平¹⁾、井林 賢志¹⁾、三輪 点²⁾、國井 尚人¹⁾、川合 謙介¹⁾

1) 自治医科大学脳神経外科 2) 自治医科大学とちぎ子ども医療センター小児脳神経外科

SY9-2 SEEG における術中安全性と機能局在の統合：Problem case から champion case への展開

Integration of Intraoperative Safety and Functional Localization in SEEG : From a Problem Case to a Champion Case

○中江 俊介、公文 将備、甲斐 恵太郎、川瀬 希依留、早川 基治、廣瀬 雄一
 藤田医科大学医学部脳神経外科

SY9-3 SEEG で発作関連部位を同定し、定位温熱凝固術を行った右側頭葉異所性灰白質・多小脳回の 1 例

SEEG-guided focus detection and SRFTC ablation in a patient with coexisting periventricular heterotopia and polymicrogyria in the right temporal lobe

○白水 洋史^{1,2,3)}、萩原 綱一^{3,4)}、上原 平^{3,4)}、三好 絢子^{3,4)}、山口 高弘^{3,4)}

1) 福岡山王病院脳神経外科 2) 福岡山王病院機能脳神経外科センター

3) 福岡山王病院てんかん・すいみんセンター 4) 福岡山王病院脳神経内科

SY9-4 MRI 撮像困難な患者に対する SEEG と焦点切除術：術中皮質脳波高周波解析によるてんかん原性評価の有用性

SEEG and Focal Resection in Patients with Cochlear Implants Precluding MRI : Utility of Intraoperative Electrocorticography High-Frequency Oscillation Analysis for Epileptogenicity Assessment

○青山 慎平¹⁾、菊池 隆幸¹⁾、Rissa Siebert¹⁾、Yang Yao¹⁾、北村 和士¹⁾、出村 彩郁¹⁾、山下 智之¹⁾、澤田 眞寛¹⁾、武山 博文²⁾、小林 勝哉²⁾、吉田 健司³⁾、松本 理器²⁾、荒川 芳輝¹⁾

1) 京都大学医学研究科脳神経外科 2) 京都大学大学院医学研究科脳神経内科

3) 京都大学大学院医学研究科てんかん・運動異常生理学講座

SY9-5 SEEG 後焦点切除術における発作予後因子—SEEG の目的・画像病変・非侵襲的検査による焦点想定の影響—

Predictive Factors for Seizure Outcomes After Resective Surgery Following SEEG : Impact of the Purpose of SEEG, Structural Lesions, and Localization by Noninvasive Evaluation

○宇田 武弘^{1,2)}、川嶋 俊幸¹⁾、國廣 誉世²⁾、石本 幸太郎²⁾、馬場 良子²⁾、九鬼 一郎³⁾、井上 岳司³⁾、福岡 正隆³⁾、温井 めぐみ³⁾、竹内 彩華³⁾、濱本 麻希³⁾、山川 康平³⁾、田上 雄大¹⁾、岡崎 伸³⁾、後藤 剛夫¹⁾

1) 大阪公立大学大学院医学研究科脳神経外科 2) 大阪市立総合医療センター小児脳神経外科

3) 大阪市立総合医療センター小児脳神経・言語療法内科

シンポジウム 10

第 1 会場 (4F マリンホール) 第 2 日/10 月 2 日(金)

15 : 55~17 : 00

てんかん外科、SEEG

Champion case and problem case-2

オーガナイザー：福多 真史 (国立病院機構西新潟中央病院脳神経外科)

座長：宇田 武弘 (大阪公立大学大学院医学研究科脳神経外科)

井上 岳司 (大阪市立総合医療センター小児青年てんかん診療センター小児脳神経・言語療法内科)

【シンポジウム 9、10、14 趣旨・狙い】

近年本邦でも SEEG の普及が進んでいるが、欧米ですでに使用されているような、より細い深部電極や電極固定のためのデバイスについては使用制限がある。現時点での SEEG の有用性や安全性を確認するために、SEEG が良好な発作予後につながったような champion case や SEEG による合併症や問題点があった problem case を共有することにより、今後の本邦での SEEG の発展に寄与できるようなセッションとしたい。

SY10-1 人工硬膜再建後 problem case に対する posterior trajectory SEEG

Posterior Trajectory SEEG for a Problem Case After Artificial Dural Reconstruction

○横佐古 卓、神部 茉由、久保田 有一

東京女子医科大学附属足立医療センター脳神経外科

SY10-2 SEEG による焦点診断が困難であった症例の検討—仮説設定の妥当性に関する後方視的解析—

Challenging cases in epileptogenic zone identification using SEEG : A retrospective analysis on preimplantation hypothesis validity

○KHOO HUI MING^{1,2)}、谷 直樹^{1,2)}、細見 晃一^{1,2)}、清水 豪士^{1,2)}、入里 直樹^{1,2)}、末松 拓也^{1,2)}、根岸 克行^{1,2)}、平井 健太郎^{1,2)}、牛田 裕子^{1,2)}、森口 玄渡^{1,2)}、一瀬 綾花^{1,2)}、柳澤 琢史^{1,2)}、平田 雅之^{1,2)}、貴島 晴彦^{1,2)}

1) 大阪大学大学院医学系研究科脳神経外科学 2) 大阪大学医学部附属病院てんかんセンター

SY10-3 結節性硬化症に対する SEEG を用いた外科戦略 : leading tuber に基づく成功例と課題
SEEG-guided surgical strategy in tuberous sclerosis complex : success and challenges based on the concept of the leading tuber

○鈴木 皓晴¹⁾、三橋 匠^{1,2)}、西岡 和輝^{1,2)}、上田 哲也^{1,2)}、野村 和希^{1,2)}、大貫 浩幸^{1,2)}、菅野 秀宣^{1,2,3)}、飯村 康司^{1,2)}、近藤 聡英^{1,2)}

1) 順天堂大学脳神経外科 2) 順天堂大学医学部附属順天堂医院てんかんセンター
3) スガノ脳神経外科クリニック

SY10-4 定位的頭蓋内脳波を用いた脳機能マッピング

Functional brain mapping using stereoelectroencephalography

○江夏 怜、菅野 彩、三國 信啓

札幌医科大学脳神経外科

SY10-5 SEEG 時代における脳機能マッピングの設計 : 成功例と不能例からみた電極密度と control electrode の重要性

Designing Functional Mapping in the SEEG Era : The Importance of Electrode Density and Control Electrodes Learned from Successful and Failed Cases

○増田 洋亮^{1,2)}、荒木 孝太^{2,5)}、西村 光代^{2,3)}、秋本 健⁴⁾、榎園 崇^{2,6)}、石川 栄一^{1,2)}

1) 筑波大学医学医療系脳神経外科 2) 筑波大学附属病院てんかんセンター
3) 筑波大学附属病院検査部 4) 筑波大学附属病院脳神経外科 5) 筑波大学臨床医学研究開発機構
6) 筑波大学医学医療系小児科

シンポジウム 11

第 4 会場 (2F 中会議室 201) 第 3 日/10 月 3 日(土)

9:00~10:30

てんかんと神経発達症の多職種支援：医療と地域をつなぐ連携モデルの構築

Multidisciplinary care for individuals with epilepsy and neurodevelopmental disorders : developing an integrated care model linking medical care and the community

座長兼コーディネーター：西田 拓司（国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター精神科）

倉持 泉（国立精神・神経医療研究センター病院てんかん診療部）

【趣旨・狙い】

てんかん診療では、発作抑制に加え、患者のライフステージに応じた心理社会的支援が重要である。しかし実臨床では、「いつ」「誰が」「何を基準に」「どこにつなぐか」が不明確なことが多く、患者・家族の孤立や支援の遅れにつながることもある。特に、てんかんと神経発達症を併存する症例では、年齢や発達段階に応じた個人・社会的要因が複雑に関与するため、多職種連携による包括的支援が不可欠である。本シンポジウムでは、こどもから成人までを対象に、保育士、心理士、医師、患者会それぞれの立場から実践的な支援と連携の在り方を共有し、今後のてんかん診療と発達支援の発展に資することを目指す。

SY11-1 てんかんのある乳幼児への発達支援

Developmental support for infants and toddlers with epilepsy

○高橋 輝¹⁾、相川 萌子¹⁾、宮下 光洋²⁾、山口 解冬²⁾、露崎 悠²⁾、大谷 英之²⁾

1) 静岡てんかん神経医療センター療育指導室 2) 静岡てんかん神経医療センター小児科

SY11-2 てんかんと神経発達症のあるこどもの心理支援

Psychological Support for Children with Epilepsy and Neurodevelopmental Disorders

○成田 有里¹⁾、浜野 晋一郎²⁾

1) 埼玉県立小児医療センター保健発達部 2) 大宮西口メンタルクリニック

SY11-3 成人てんかんと神経発達症～多職種での評価・支援、他機関との連携～

Epilepsy and Neurodevelopmental Disorders in Adults : Multidisciplinary Assessment, Support, and Inter-Agency Collaboration

○中岡 健太郎

愛知県精神医療センター

SY11-4 てんかんと神経発達症のある方の疾患教育と精神科作業療法

Psychoeducation and psychiatric occupational therapy for individuals with epilepsy and neurodevelopmental disorders

○浪久 悠

国立精神・神経医療研究センター病院

SY11-5 てんかんピア相談、ピアサポートの現状から

Epilepsy Peer Support—A Report from the Frontline

○中村 千穂

(公社) 日本てんかん協会東京都支部

シンポジウム 12

第 5 会場 (3F 中会議室 301) 第 3 日/10 月 3 日(土)

9:00~10:30

AI が拓くてんかん学の新時代：臨床・研究・教育それぞれの最前線

How AI facilitates patient care, research, and education in epilepsy

オーガナイザー：小林 揚子（国立精神・神経医療研究センター病院小児科）

座長兼オーガナイザー：小玉 聡（Department of Neurology, University of Iowa）

座長：江頭 柊平（京都大学）

【趣旨・狙い】

「AI の時代」と、誰もが言う。ChatGPT の登場以降、その熱狂は医療の世界にも一気に流れ込み、臨床、研究、教育、あらゆる場面で「AI 活用」が語られるようになった。では、てんかん学ではどうだろうか。病歴を丁寧に聞き出し、脳波を読み、発作症候を観察し、長い時間をかけて経験を継承してきたこの領域で、どう AI を活用することができるのか。

本セッションでは、臨床、研究、教育の第一線で AI に携わる講師たちをてんかん学の内外から招聘し、それぞれの現場で起きていることを共有する。すぐにでも使いたくなる「AI 実践術」を学びつつ、AI によって変わるもの、変わらないものを含め、てんかん学のこれからを考えたい。

SY12-1 遠隔脳波共有システムを用いた AI による脳波判読およびてんかん診断

AI-based EEG interpretation and epilepsy diagnosis using a remote EEG sharing system

○菅野 秀宣^{1,2,3,4)}、田中 聡久^{2,4)}、松井 亮祐^{2,3,4)}、中島 円^{1,4)}、三橋 匠¹⁾、鈴木 皓晴¹⁾、飯村 康司¹⁾

1) 順天堂大学脳神経外科 2) 東京農工大学工学研究院 3) スガノ脳神経外科クリニック

4) 株式会社シグロン

SY12-2 あなたの AI 研究、現場で使えますか？～脳神経救急における AI 研究の出口戦略～

From High Accuracy to Bedside Utility: Exit Strategies for AI Research in Neurocritical Emergency Care

○藤原 岳

京都府立医科大学脳神経外科学教室

SY12-3 AI は現場での医学教育をどう変えるか

How Will AI Transform Medical Education in Clinical Practice?

○永井 友基

長崎医療センター総合診療科/総合内科

シンポジウム 13 第 2 会場 (2F メインホール A) 第 3 日/10 月 3 日 (土) 14 : 20 ~ 15 : 50

「波の会」、これからの 50 年を目指して：医師による地域活動の支援、何ができるか？

What can epileptologists do in local activities to help the Japan Epilepsy Association develop for the next 50 years?

座長兼コーディネーター：澤石 由記夫（秋田県立医療療育センター小児科）

座長：白石 秀明（獨協医科大学小児科学）

【趣旨・狙い】

日本てんかん学会の会員数も専門医数も増えている一方で、日本てんかん協会「波の会」の会員数は年々減少している。退会者数が入会者数を毎年上回り、同時に会員の高齢化も進んでいる。既に県単位での活動が困難となっている県も複数存在する。てんかん患者を取り巻く社会状況はまだまだ問題が山積しているなかで、この現状に私は強い危機感を感じる。「波の会」の活動が停滞したその責任の半分はてんかん専門医にあると思う。てんかん専門医はてんかんという疾患を診るだけで終わらず、てんかん患者の社会生活が健全となることを最終目標とすべきだ。そう考える時、てんかん専門医が「波の会」と共に歩むことは自然なことであり必要なことだ。そんな思いから今回、このシンポジウムを企画した。

SY13-1 てんかん情報の提供と地域活動のコーディネートへの期待

Expectations for providing epilepsy information and coordinating community activities

○田所 裕二

日本てんかん協会（波の会）

SY13-2 東京都における「波の会」活動の支援

Supporting the Activities of the Japan Epilepsy Association in Tokyo

○生田 陽二

東小金井小児神経・脳神経内科クリニック

SY13-3 地方大学病院から広げる地域てんかん医療—徳島での実践と課題—

Expanding Community Epilepsy Care from a Regional University Hospital : Practice and Challenges in Tokushima

○多田 恵曜^{1,2)}、藤原 敏孝^{1,2)}、中瀧 理仁^{2,3)}、森 達夫^{2,4)}、山崎 博輝^{2,5)}、東原 真奈^{2,5)}、
福田 直也^{2,6)}、泉 千恵^{2,6)}、和泉 唯信^{2,5)}、高木 康志^{1,2)}

1) 徳島大学脳神経外科 2) 徳島大学病院てんかんセンター 3) 徳島大学精神科神経科

4) 徳島大学小児科 5) 徳島大学脳神経内科 6) 徳島大学病院患者支援センター

SY13-4 パープルデー信州の歩みと課題—てんかん啓発活動を発展させるために必要なもの—

The History and Challenges of Purple Day Shinshu : What is Needed to Further Develop Epilepsy Awareness Activities

○金谷 康平^{1,2)}、北原 理恵²⁾、林 里絵²⁾、福山 哲広^{2,3)}

1) 信州大学医学部脳神経外科 2) 信州大学医学部附属病院てんかんセンター

3) 信州大学医学部小児医学教室

シンポジウム 14

第 4 会場 (2F 中会議室 201) 第 3 日/10 月 3 日(土)

14 : 20~15 : 40

てんかん外科、SEEG

Champion case and problem case-3

オーガナイザー：福多 真史 (国立病院機構西新潟中央病院脳神経外科)

座長：松尾 健 (東京都立神経病院)

白水 洋史 (福岡山王病院脳神経外科/機能脳神経外科センター)

【シンポジウム9、10、14 趣旨・狙い】

近年本邦でも SEEG の普及が進んでいるが、欧米ですでに使用されているような、より細い深部電極や電極固定のためのデバイスについては使用制限がある。現時点での SEEG の有用性や安全性を確認するために、SEEG が良好な発作予後につながったような champion case や SEEG による合併症や問題点があった problem case を共有することにより、今後の本邦での SEEG の発展に寄与できるようなセッションとしたい。

SY14-1 When MEG Does Not Cluster : SEEG Hypothesis in MRI-negative Epilepsy

○Midori Nakajima, Kanako Sekiguchi, Satoshi Yamada, Takeru Goto, Sachiko Nakakubo, Yuki Ueda, Kiyoshi Egawa

Division of Child neurology, Department of Pediatrics, Hokkaido University Hospital

SY14-2 SEEG 50 症例における発作起始推定アルゴリズム TAILOR の臨床的妥当性の検討

Clinical Evaluation of TAILOR for Seizure-Onset Estimation in 50 SEEG Cases

○濱崎 一¹⁾、石崎 友崇²⁾、藤原 幸一^{1,3)}

1) 奈良先端科学技術大学院大学メディルクス研究センター

2) 名古屋大学大学院医学系研究科脳神経外科学 3) 北海道大学電子科学研究所

SY14-3 高侵襲・直視下の硬膜下電極留置を選択するか、低侵襲・ブラインドの SEEG を選択するか

Which should be selected direct-vision subdural electrode placement or minimally invasive blind SEEG? The experience of Hiroshima University Hospital

○香川 幸太¹⁾、瀬山 剛²⁾、岡村 朗健²⁾、ロファット アスコロ¹⁾、堀江 信貴¹⁾

1) 広島大学大学院医系科学研究科脳神経外科学 2) 広島大学病院脳神経外科

SY14-4 発作時頻拍に対する自動刺激を有する迷走神経刺激療法の予後因子に関する検討

Sexual Dimorphism of Seizure Outcomes with Vagus Nerve Stimulation Responding to Ictal Tachycardia in Pediatric-onset Drug-resistant Epilepsy

○牛田 宏樹^{1,2,3,4,5,6)}、山添 知宏^{2,3,4)}、川路 博史^{2,3)}、吉村 歩^{3,5)}、安藤 直人¹⁾、鶴井 聡⁶⁾、山本 貴道^{2,3)}

1) 済生会宇都宮病院脳神経外科 2) 聖隷三方原病院てんかん・機能神経外科

3) 聖隷三方原病院ベテルてんかんセンター 4) 聖隷沼津病院脳神経外科

5) 聖隷三方原病院小児科 6) 聖隷沼津病院小児科

SY14-5 発作時頻拍に対する自動刺激を有する迷走神経刺激療法の至適パラメーターの設定

Suitable parameters of vagus nerve stimulation with automatic stimulation induced by ictal tachycardia, which is better rapid duty cycling or more automatic stimulation?

- 山添 知宏^{1,2,6)}、川路 博史^{1,2)}、吉村 歩^{1,3)}、松村 美咲^{1,3)}、今市 悠太郎^{1,3)}、本間 一成^{1,4)}、
黒田 彬子^{1,5)}、西村 克彦^{1,5)}、安藤 直人⁶⁾、鶴井 聡⁷⁾、山本 貴道^{1,2)}
1) 聖隷三方原病院ベテルてんかんセンター 2) 聖隷三方原病院てんかん・機能神経外科
3) 聖隷三方原病院小児科 4) 聖隷三方原病院脳卒中科 5) 聖隷三方原病院精神科
6) 聖隷沼津病院脳神経外科 7) 聖隷沼津病院小児科

SY14-6 難治性てんかんにおける静脈酸素化変化の定量解析

Quantitative Analysis of Cortical Venous Oxygenation Changes in Drug-Resistant Epilepsy

- 菅野 彩、江夏 怜、三國 信啓
札幌医科大学脳神経外科

ワークショップ 1 第 2 会場 (2F メインホール A) 第 1 日/10 月 1 日 (木) 9:20~10:50

ビデオ脳波で学ぶ小児てんかんの発作症候**Learning Seizure Semiology in Pediatric Epilepsy on Video EEG**

オーガナイザー：小林 悠 (国立病院機構西新潟中央病院神経小児科)

座長：岡西 徹 (鳥取大学医学部脳神経医科学講座脳神経小児科学分野)

福山 哲広 (信州大学医学部小児医学教室)

【趣旨・狙い】

小児てんかん診療において、発作症候を正確に評価し発作型を同定するには、発作時ビデオ脳波同時記録の判読スキルが欠かせない。正しい発作型診断を行うことは、正確なてんかん病型やてんかん症候群診断の基本となり、適切な治療選択や的確な予後予測に直結する。本セッションでは乳幼児期、小児期の全般発作、焦点発作について、3 人の演者が実際の発作時ビデオ脳波同時記録を提示し、発作症候と脳波判読を解説する。提示にあたっては聴衆参加型形式を採用し、会場の皆様とともに考え、議論を深めることで、日々の診療に役立つ実践的な理解を得る機会としたい。

WS1-1 乳幼児期におけるてんかん発作徴候と発作時脳波所見の理解

Seizure symptoms and ictal video EEG findings in infancy and early childhood

- 伊藤 祐史
名古屋大学医学部附属病院小児科

WS1-2 小児の全般発作

Generalized seizures in childhood and adolescence

- 小林 悠
国立病院機構西新潟中央病院神経小児科

WS1-3 小児の焦点発作をネットワークと発達の見点で読みなおす

Revisiting Focal Seizures in Children from the Perspective of Network and Development

○本田 涼子

国立病院機構長崎医療センター小児科

ワークショップ 2(スイーツ付き) 第 5 会場 (3F 中会議室 301) 第 1 日/10 月 1 日(木) 16:45~18:15

日本てんかん学会—全国てんかんセンター協議会合同企画

先生！もっと頼ってください！—コメディカルから見た本当のチーム医療—

Doctor, please rely on us more—True Interprofessional Collaboration from the Comedical Perspective

座長兼コーディネーター：本田 涼子（国立病院機構長崎医療センター小児科）

上利 稔枝（国立精神・神経医療研究センター病院）

【趣旨・狙い】

てんかん診療では、多職種連携の重要性が広く認識されている一方で、それぞれの専門性や役割を十分に理解し合い、互いの強みを活かした協働が実践されているとは言い難い。本セッションでは、医師と JEPICA で各職種をリードするコメディカルが、それぞれの立場から実践や課題を共有し、「本当の多職種連携」とは何かを参加者とともに考える機会としたい。また、コメディカルの専門性や実践力を広く発信することで、職種間の相互理解を深め、「もっとコメディカルを頼ってみよう」と思える関係性の構築と、てんかんをもつ人へのより質の高い支援につなげることを目指す。

WS2-1 ○増田 浩

国立病院機構西新潟中央病院脳神経外科

WS2-2 ○白石 秀明

獨協医科大学小児科学

WS2-3 ○倉持 泉

国立精神・神経医療研究センター病院

WS2-4 ○高橋 章夫

国立病院機構渋川医療センター

WS2-5 ○長谷川 梨絵

国立病院機構西新潟中央病院

WS2-6 ○橋本 睦美

静岡てんかん・神経医療センター

WS2-7 ○藤川 真由

慶應義塾大学医学部大学院医学研究科附属医科学研究連携推進センター

WS2-8 ○浪久 悠

国立精神・神経医療研究センター病院

WS2-9 ○高橋 輝

静岡てんかん神経医療センター療育指導室

ワークショップ 3**第 1 会場 (4F マリンホール) 第 3 日/10 月 3 日(土)****9:00~10:30****成人のてんかん発作：ビデオセッション****Epileptic seizures in adult patients : video session**

座長兼コーディネーター：神 一敬 (東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野)

座長：臼井 直敬 (NHO 静岡てんかん・神経医療センター)

【趣旨・狙い】

成人てんかん患者でみられる発作症候について、精神科、脳神経外科、脳神経内科のエキスパートから提示される選りすぐりの発作動画で学ぶセッションである。はじめにてんかん発作との鑑別が問題となる心因性非てんかん発作(機能性/解離性発作)の症候学について学ぶ。次いで、本セッションでは焦点発作と全般発作の鑑別をテーマとして取り上げる。運動発作、意識減損発作/欠神発作、強直間代発作の順に両者の鑑別ポイントについて発作動画をもとに学ぶ。最後に、焦点発作の中で、てんかんモニタリングユニットにおいて遭遇する機会の多い焦点自律神経発作の特徴を学ぶ。

WS3-1 心因性非てんかん発作 (PNES/functional/dissociative seizures : FDS) : ビデオから読み解く鑑別の実際

Psychogenic Non-Epileptic Seizures (PNES) / Functional / Dissociative Seizures (FDS) :
Practical Differentiation Based on Video Analysis

○谷口 豪、斉藤 聡志、倉持 泉、丸山 友佑、砂原 真理子、小関 ほなみ

国立精神・神経医療研究センター病院てんかん診療部

WS3-2 焦点運動発作と全般運動発作

focal onset motor seizure and generalized onset motor seizure

○浮城 一司、神 一敬

東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野

WS3-3 焦点意識減損発作と欠神発作

Focal impaired consciousness seizure and Absence seizure

○下竹 昭寛

国立病院機構宇多野病院

WS3-4 FBTCS と GTCS：診断のポイントと注意点

FBTCS versus GTCS：Diagnostic Pearls and Pitfalls

○川口 典彦

NHO 静岡てんかん・神経医療センターてんかん科

WS3-5 焦点自律神経発作

Focal autonomic seizures

○萩原 綱一¹⁾、三好 絢子¹⁾、上原 平¹⁾、白水 洋史^{1,2,3)}

1) 福岡山王病院てんかん・すいみんセンター

2) 福岡山王病院機能脳神経外科センター/視床下部過誤腫センター 3) 福岡山王病院脳神経外科

指導医講習会(てんかん専門医委員会) 第 1 会場 (4F マリンホール) 第 1 日/10 月 1 日(木) 8:00~8:50

座長：夏目 淳 (名古屋大学障害児 (者) 医療学寄附講座)

TS 医療現場でのカスタマーハラスメントへの対応について

Addressing Customer Harassment in Healthcare Settings

○鳥谷部 真一

新潟大学医歯学総合病院

委員会企画 1(分類・用語委員会企画) 第 3 会場 (2F メインホール B) 第 1 日/10 月 1 日(木) 9:20~10:20

てんかん発作分類 2025 改訂 分類・用語委員会から**Updated classification of epileptic seizures 2025**

座長兼コーディネーター：赤松 直樹 (国際医療福祉大学医学部脳神経内科)

座長：山野 光彦 (東海大学医学部医学科総合診療学系)

【趣旨・狙い】

国際抗てんかん連盟(ILAE)発作分類用語の 2025 年改訂について、会員諸氏に改訂点を周知することをねらいとする。例えば、焦点意識減損発作は focal impaired awareness seizure から focal impaired consciousness seizure に変更となった。日本語訳は同じであるが、英語略語は FIAS が FIC に変更となっている。このほかの改訂点についても説明する。

CP1-1 てんかん発作型分類小改訂 2025 について

Updated classification of epileptic seizures 2025

○日暮 憲道

武蔵小杉小児科・てんかんクリニック

CP1-2 分類・用語委員会からの最新情報

Classification terminology committee report

○赤松 直樹

国際医療福祉大学医学部脳神経内科

委員会企画 2(倫理委員会企画) 第 4 会場 (2F 中会議室 201) 第 1 日/10 月 1 日(木) 9:20~10:20

てんかん学会での発表における倫理基準について**Ethical Standards for Presentations at the Congress of the Japan Epilepsy Society**

座長・コーディネーター：菊池 健二郎（埼玉県立小児医療センター神経科/小児てんかんセンター）

座長：原 恵子（横浜こころと脳波・てんかんのクリニック）

【趣旨・狙い】

医学臨床研究の倫理指針（「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」）では、研究対象者の人権・安全の確保と科学的妥当性の担保について言及されている。中でも、1) 専門家や市民代表を含めた倫理審査委員会(IRB)による厳格な審査、2) 仮名加工情報などによる個人情報の厳格な保護は、倫理的配慮に関わる内容である。しかしながら、学術集会での発表演題登録において、この倫理的配慮の要求レベルが関連学会によって異なるのが現状である。今回は改めて本学術集会における演題登録および発表に関して、適切な倫理的配慮の在り方と前回の本学術集会での実装について学会会員の皆様と共有したい。

CP2-1 学術集会における演題登録・発表に関する倫理的配慮の概論

Overview of Ethical Considerations in Abstract Submission and Presentation at Academic Meetings

○田中 基嗣

新潟大学医歯学総合病院臨床研究推進センター

CP2-2 日本てんかん学会における演題登録の倫理的配慮と第 58 回学術集会での対応

Implementation of ethical considerations for abstract submission at the 58th annual meeting of the Japan Epilepsy Society

○國井 尚人、川合 謙介

自治医科大学脳神経外科

委員会企画 3 (YES-Japan English Oral Presentation)

【趣旨・狙い】

国際学会での発表は、研究者・臨床家が自らの研究や経験を世界に発信し、国際的な議論や共同研究、最新の臨床実践を学ぶ貴重な機会です。一方で、英語での発表や質疑応答には言語面・経験面のハードルがあり、一歩を踏み出しにくい若手も少なくありません。3 年目を迎える本セッションは、若手が英語で口頭発表、質疑応答に挑戦し、経験豊富なコメンテーターから具体的なフィードバックを受けることで、実践的な発表力を磨く機会です。聴衆にとっても、英語発表の工夫や改善点を学ぶ場となります。本セッションを通じて、参加者が互いに刺激を受け成長し、世界への発信が促進されることを期待します。なお、本セッションの口演は本大会の一般演題との重複を許容しています。優れた発表には「YES-Japan English Oral Presentation Award」が授与されます。

委員会企画 3-1

第 5 会場 (3F 中会議室 301) 第 1 日/10 月 1 日(木)

9:20~10:20

YES-Japan English Oral Presentation 1

座長: 竹内 博一 (埼玉県立小児医療センター保健発達部)

水本 悠希 (東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野)

コメンテーター: 小野 智憲 (国立病院機構長崎医療センター)

菅野 彩 (札幌医科大学脳神経外科)

石原 尚子 (藤田医科大学医学部小児科学)

CP3-1-1 単発電気刺激による、てんかん性スパズムにおける視床―皮質間ネットワークの評価

Evaluation of Thalamocortical Network Connectivity in Epileptic Spasms Using Single-Pulse Electrical Stimulation

○藤井 彩花¹⁾、黒田 直生²⁾、宇田 裕史²⁾、藤岡 佳太郎¹⁾、北澤 悠¹⁾、田中 章景¹⁾、土井 宏¹⁾、浅野 英司²⁾

1) 横浜市立大学医学部神経内科学・脳卒中医学教室

2) ウェイン州立大学医学部小児科・神経内科

CP3-1-2 Epileptic Spasms が自律神経動態に及ぼす影響: k-means clustering を用いた単症例解析

Effects of Epileptic Spasms on Autonomic Dynamics: A Single-Case Analysis Using Unsupervised Clustering

○秋庭 崇人^{1,2,3)}、高橋 健^{1,3)}、飯村 康司^{2,4)}、橋本 わかば^{1,3)}、鈴木 皓晴^{2,4)}、島田 姿野^{1,2,3,5)}、松井 こと子¹⁾、池野 充^{1,2)}、安部 信平^{1,2,3)}、東海林 宏道¹⁾、奥村 彰久^{1,2,6)}

1) 順天堂大学医学部小児科学講座 2) 順天堂大学医学部附属順天堂医院てんかんセンター

3) 順天堂大学医学部附属浦安病院小児科 4) 順天堂大学医学部附属順天堂医院脳神経外科

5) 国立国際医療研究センターメディカルゲノムセンター 6) 愛知医科大学医学部小児科

CP3-1-3 焦点てんかん患者におけるワーキングメモリーと神経炎症との関連: TSPO-PET 研究

Working Memory and Neuroinflammation in Focal Epilepsy: A TSPO-PET Study

○泉本 麻耶^{1,2)}、岩谷 祥子^{1,2)}、菅野 直記²⁾、谷河 純平²⁾、クー ウイミン³⁾、谷 直樹³⁾、磯橋 佳也子⁴⁾、加藤 弘樹⁴⁾、貴島 晴彦³⁾、下野 九理子^{1,2)}

1) 大阪大学大学院連合小児発達学研究所 2) 大阪大学大学院医学系研究科小児科学

3) 大阪大学大学院医学系研究科脳神経外科 4) 大阪大学大学院医学系研究科放射線統合医学講座

CP3-1-4 扁桃体腫大を伴う自己免疫性脳炎として診断治療され、のちに高悪性度神経膠腫と判明したてんかんの 3 症例

High-Grade Glioma Presenting as Autoimmune Encephalitis with Amygdala Enlargement in Patients with Epilepsy: Three Cases

○板橋 悠太郎、酒本 海帆、大澤 祥、中田 聡、堀口 桂志、大宅 宗一

群馬大学医学部附属病院脳神経外科

CP3-1-5 IMPROVING DIAGNOSTIC ACCURACY AND TREATMENT IN SEIZURE DISORDERS : THE ROLE OF LONG-TERM VIDEO-EEG MONITORING

○Iire Jalava¹⁾、Soila Jarvenpaa^{1,2)}、朴 依主¹⁾、清水 沙織里¹⁾、小関 ほなみ¹⁾、丸山 友佑¹⁾、砂原 真理子¹⁾、斉藤 聡志¹⁾、倉持 泉¹⁾、谷口 豪¹⁾

1) Department Of Epileptology, National Center Hospital,

National Center Of Neurology And Psychiatry 2) Tampere University, Finland

委員会企画 3-2

第 6 会場 (3F 中会議室 302) 第 1 日/10 月 1 日(木)

9 : 20~10 : 50

YES-Japan English Oral Presentation 2

座長：小林 揚子 (国立精神・神経医療研究センター病院脳神経小児科)

岡崎 洋介 (岡山大学病院脳神経外科)

コメンテーター：大坪 宏 (トロント小児病院)

金井 創太郎 (鳥取大学医学部附属病院脳神経小児科)

KHOO HUI MING (大阪大学大学院医学系研究科脳神経外科)

CP3-2-1 Efficacy and Safety of Intravenous Lacosamide in the Management of Non Convulsive Status Epilepticus : A Systematic Review

○Mario Jr Prado

Tokyo Women Medical University Adachi Medical Center, Department of Neurosurgery

CP3-2-2 SSADH 欠損マウスにおける空間トランスクリプトミクスを用いたてんかん病態の解明

Spatial transcriptomic analysis of epileptic pathophysiology in an SSADH-deficient mouse model

○堀口 明由美¹⁾、甲州 希理¹⁾、永井 康平¹⁾、渡邊 美有紀¹⁾、神保 恵理子¹⁾、小島 華林¹⁾、松村 貴由²⁾、村松 一洋¹⁾、小坂 仁¹⁾

1) 自治医科大学とちぎ子ども医療センター小児科学 2) 自治医科大学心血管遺伝学研究部

CP3-2-3 Fast ripple の測定方法の違いによる HFO 検出数および SOZ 予測能の差異

Impact of Fast Ripple Detection Methods on HFO Counts and SOZ Predictive Performance

○波多野 敬介^{1,2)}、藤本 礼尚^{1,2)}、望月 賢紀^{1,2)}、星山 栄成^{1,3)}、古郡 規雄^{1,4)}、野村 好平^{1,5)}、今高 城治^{1,5)}、白石 秀明^{1,5)}、阿久津 博義^{1,2)}

1) 獨協医科大学病院てんかんセンター 2) 獨協医科大学病院脳神経外科

3) 獨協医科大学病院脳神経内科 4) 獨協医科大学病院精神科 5) 獨協医科大学病院小児科

CP3-2-4 Seizure Onset Zone-Related Modulation of CCEP-Based Language Network Hub Properties

○松本 明香^{1,3)}、十河 正弥²⁾、小林 勝哉³⁾、橋本 黎¹⁾、的場 健人¹⁾、尾谷 真弓¹⁾、中江 卓郎⁵⁾、澤田 眞寛⁵⁾、下竹 昭寛⁴⁾、菊池 隆幸⁵⁾、荒川 芳輝⁵⁾、千原 典夫¹⁾、松本 理器³⁾

1) 神戸大学大学院医学研究科脳神経内科

2) Department of Neurology and Neurological Sciences, Stanford University School of Medicine

3) 京都大学大学院医学研究科脳神経内科 4) 独立行政法人国立病院機構宇多野病院

5) 京都大学大学院医学研究科脳神経外科

CP3-2-5 Fenfluramine-Associated Changes in Concomitant Anti-Seizure Medication Burden in Adults with Lennox-Gastaut Syndrome

○Mutsuki Takeda¹⁾、Yu Kitazawa¹⁾、Masaki Sonoda²⁾、Keisuke Morihara¹⁾、Yosuke Miyaji¹⁾、Yuichi Higashiyama¹⁾、Katsuo Kimura³⁾、Naohisa Ueda³⁾、Fumiaki Tanaka¹⁾、Hiroshi Doi¹⁾

1) Department of Neurology and Stroke Medicine, Yokohama City University Graduate School of Medicine

2) Department of Neurosurgery, Yokohama City University Graduate School of Medicine

3) Department of Neurology, Yokohama City University Medical Center

CP3-2-6 術後患者における非けいれん性てんかん重積状態の発症頻度と関連因子：後方視的コホート研究

Postoperative Nonconvulsive Status Epilepticus : Incidence and Predictive Factors in a Retrospective Cohort

○川瀬 希依留、中江 俊介、公文 将備、廣瀬 雄一
藤田医科大学医学部脳神経外科

CP3-2-7 発作間欠期棘波に時間同期する 500 Hz 以上の超高周波活動の定量解析

Quantitative Analysis of Very High-Frequency Activity above 500 Hz Time-Locked to Interictal Spikes

○藤岡 佳太郎¹⁾、宇田 裕史²⁾、黒田 直生²⁾、臼井 直敬³⁾、小川 博司³⁾、奥村 太郎³⁾、橋口 充³⁾、川口 典彦¹⁾、北澤 悠¹⁾、田中 章景¹⁾、土井 宏¹⁾、浅野 英司²⁾

1) 横浜市立大学医学部神経内科学・脳卒中医学教室

2) ウェイン州立大学医学部小児科・神経内科 3) 静岡てんかん神経医療センター脳神経外科

4) 静岡てんかん神経医療センター脳神経内科

CP3-2-8 脱力発作のみを示す全般てんかんの 3q29 微細欠失の男児例

Epilepsy with Atonic Seizures Alone in a Boy with 3q29 Microdeletion

○濱原 彩加¹⁾、秋庭 崇人^{1,2,3,4)}、島田 姿野^{1,2,3,4,5)}、松田 慎平^{1,2)}、池野 充^{1,2)}、安部 信平^{1,2,3)}、高橋 健^{1,3)}、東海林 宏道¹⁾、奥村 彰久^{1,2,6)}

1) 順天堂大学医学部小児科学講座 2) 順天堂大学医学部附属順天堂医院てんかんセンター

3) 順天堂大学医学部附属浦安病院小児科 4) 国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター

5) 国立国際医療研究所メディカルゲノムセンター 6) 愛知医科大学医学部小児科

委員会企画 3-3

第 2 会場 (2F メインホール A) 第 1 日/10 月 1 日(木)

11:00~12:00

YES-Japan English Oral Presentation 3

座長：岡橋 友美子（奈良県総合医療センター）

中倉 真之（京都第一赤十字病院検査部）

コメンテーター：久保田 有一（東京女子医科大学附属足立医療センター）

北澤 悠（横浜市立大学附属病院臨床検査部）

藤川 真由（慶應義塾大学医学部医科学研究連携推進センター）

CP3-3-1 発作前脳波による特発性全般てんかんと機能性/解離性発作の鑑別：再帰プロット・アテンション手法の応用

Differentiating Idiopathic Generalized Epilepsy from Functional/Dissociative seizures using preictal EEG: application of multi-band Recurrence plot and attention integration

○幸田 龍¹⁾、久保田 隆文^{2,3)}、此松 和俊^{2,3)}、柏田 祐樹^{4,5)}、浮城 一司²⁾、神 一敬²⁾

1) 東北大学医学部医学科 2) 東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野

3) 東北大学大学院医学系研究科神経内科学分野

4) 東北大学大学院医学系研究科 AI フロンティア新医療創生分野

5) 理化学研究所革新知能統合研究センター

CP3-3-2 発作管理を超えて：日本とラトビアのてんかん医療比較

Beyond seizure control: Comparative analysis of epilepsy care systems and functional outcomes in Japan and Latvia

○Linda Freivalde^{1,2)}、兼本 浩祐¹⁾

1) すずかけクリニック 2) Fujita Health University

CP3-3-3 コンピューターベース認知介入の対象となるてんかん患者の特徴：スコーピングレビュー

The characteristics of people with epilepsy (PWE) who are suitable candidates for computer-based cognitive interventions: a scoping review

○安中 裕紀¹⁾、村上 元¹⁾、長谷川 直哉²⁾

1) 新潟医療福祉大学作業療法学科 2) 北信越クリニック

CP3-3-4 Epilepsia partialis continua を反復した FCD 関連前頭葉てんかんに SEEG に基づく前頭葉離断術を施行した 1 例

A case of FCD type II-related frontal lobe epilepsy with recurrent epilepsia partialis continua treated by SEEG-guided frontal lobe disconnection

○野村 和希^{1,2)}、鈴木 皓晴^{1,2)}、大貫 浩幸^{1,2)}、西岡 和輝^{1,2)}、三橋 匠^{1,2)}、飯村 康司^{1,2)}、上田 哲也^{1,3)}、近藤 聡英^{1,2)}

1) 順天堂大学医学部附属順天堂医院てんかんセンター 2) 順天堂大学医学部脳神経外科

3) 順天堂大学医学部附属練馬病院脳神経外科

CP3-3-5 AMPA 受容体拮抗薬の膠芽腫に対する抗腫瘍効果に関する後方視的検討

Retrospective Study on the Antitumor Effect of AMPA Receptor Antagonists on Overall Survival in Patients with Glioblastoma

○國仲 倫史¹⁾、上原 未琴^{1,2)}、太田 百夏¹⁾、與那嶺 達也¹⁾、小林 繁貴^{1,2)}、新屋 貴裕¹⁾、
下里 倫¹⁾、長嶺 英樹¹⁾、外間 洋平¹⁾、福田 健治¹⁾、石内 勝吾³⁾、浜崎 禎¹⁾

1) 琉球大学病院脳神経外科 2) 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター

3) 琉球大学医学部先端医学研究センターブレイン・ヘルスケア学講座

委員会企画 3-4

第 6 会場 (3F 中会議室 302) 第 1 日/10 月 1 日 (木)

10:55~12:00

YES-Japan English Oral Presentation 4

座長：中屋 亮彦 (TMG あさか医療センター脳神経内科)

佐久間 美帆 (東京科学大学大学院医歯学総合研究科)

コメンテーター：倉持 泉 (国立精神・神経医療研究センター病院てんかん診療部)

武内 俊樹 (岡山大学大学院小児発達病因病態学分野/岡山大学病院小児神経科)

代田 悠一郎 (東京大学医学部附属病院)

CP3-4-1 アデノシン A2A 受容体のアロステリックモジュレーターに基づく新規抗発作介入

A novel antiseizure intervention based on allosteric modulators of adenosine A2A receptors

○Koustav Roy^{1,3)}、Asude Bilge Yakut¹⁾、Yue Yin¹⁾、Mitsuyo Nishimura⁴⁾、Yosuke Masuda^{2,4)}、
Kaspar E. Vogt^{1,3)}、Tsuyoshi Saitoh^{1,2,3)}、Michael Lazarus^{1,2,3)}

1) International Institute for Integrative Sleep Medicine (WPI-IIIS), University of Tsukuba

2) Institute of Medicine, University of Tsukuba

3) Tsukuba Institute for Advanced Research (TIAR)

4) Comprehensive Epilepsy Center, University of Tsukuba Hospital

CP3-4-2 レノックス・ガストー症候群へのフェンフルタミン低用量導入・緩徐漸増：13 症例の後方視的検討

Low-dose initiation and slow titration of fenfluramine in Lennox-Gastaut syndrome : a retention-oriented single-centre retrospective case series

○高木 悠輝^{1,2)}、飯村 康司¹⁾、鈴木 皓晴¹⁾、三橋 匠¹⁾、上田 哲也¹⁾、西岡 和輝¹⁾、
野村 和希¹⁾、大貫 浩幸¹⁾、菅野 秀宣¹⁾、近藤 聡英¹⁾

1) 順天堂大学医学部附属順天堂医院てんかんセンター 2) 順天堂大学医学部附属静岡病院

CP3-4-3 慢性硬膜下血腫に伴うてんかん発作の画像学的特徴

Imaging Characteristics of Seizures associated with Chronic Subdural Hematoma

○阿部 桜子¹⁾、殿村 修一¹⁾、福岡 一樹¹⁾、本山 りえ¹⁾、山本 優³⁾、田中 智貴⁴⁾、古賀 政利²⁾、豊田 一則²⁾、片岡 大治³⁾、猪原 匡史¹⁾

1) Department of Neurology, National Cerebral and Cardiovascular Center

2) Department of Cerebrovascular Medicine, National Cerebral and Cardiovascular Center

3) Department of Neurosurgery, National Cerebral and Cardiovascular Center

4) Department of Neurology, Faculty of Medicine, Shimane University, Izumo, Japan

CP3-4-4 Patient-specific neural network simulation showed a cascading failure in mesial temporal lobe epilepsy with hippocampal sclerosis○エル アドナニ モハメドアミン¹⁾、新妻 邦泰^{1,2,3)}、久保田 隆文^{1,5)}、大沢 伸一郎³⁾、神 一敬⁴⁾、遠藤 英徳³⁾

1) Department of Translational Neuroscience, Tohoku University Graduate School of Medicine

2) Department of Neurosurgical Engineering, Graduate School of Biomedical Engineering, Tohoku University

3) Department of Neurosurgery, Tohoku University Graduate School of Medicine

4) Department of Epileptology, Graduate School of Medicine, Tohoku University

5) Department of Neurology, Graduate School of Medicine, Tohoku University

CP3-4-5 選択的 Wada test における投与血管と頭蓋内脳波変化との空間的関連性の検討

Spatial Correlation Between Injected Arteries and Intracranial EEG Changes During Selective Wada Test

○谷口 友理^{1,2)}、園田 真樹²⁾、藤井 啓太²⁾、中居 康展²⁾、黒須 咲良³⁾、會見 比佐夫²⁾、鈴木 良介²⁾、池谷 直樹²⁾、末永 潤²⁾、小野寺 英孝²⁾、立石 健祐²⁾、山本 哲哉²⁾

1) 横浜市立大学医学部医学科 2) 横浜市立大学大学院医学研究科脳神経外科学

3) 東京都リハビリテーション病院リハビリテーションセンター言語療法部門

CP3-4-6 当院救急外来でのブリーバラセタムの使用について

Use of Brivaracetam in the Emergency Department : A Single-Center Retrospective Case Series

○松本 知也、川内 雄太、光樂 泰信
柏たなか病院

委員会企画 4(英文ジャーナル委員会企画) 第 6 会場 (3F 中会議室 302) 第 1 日/10 月 1 日(木) 16:45~18:15

Why Your Paper Gets Accepted—or Rejected : Perspectives from Editors of ILAE-Affiliated Journals

座長・コーディネーター：岡西 徹（鳥取大学医学部脳神経医科学講座脳神経小児科学分野）

座長：秋庭 崇人（順天堂大学医学部附属順天堂医院てんかんセンター）

【趣旨・狙い】

てんかん学の研究成果を国際誌で発信することは、我々の重要な課題である。しかしながら編集部側の視点でのアクセプトの必要条件を知る機会は乏しい。本企画は英文ジャーナル委員会と YES-Japan の共同開催にて、Epilepsia や Epilepsia Open の Editorial board を経験された先生にご登壇いただき、アクセプトされる論文執筆のポイントを編集者の視点から解説いただく。特に以下の要素に重点を置く：

- Editor 視点での論文の評価
- 査読者の視点からの、どのように原稿を評価しているか
- 研究の意義を的確に伝える導入と議論の構成
- 適切な研究仮説の立て方とそれに基づく研究デザイン・統計検定の設計

本企画は参加する全てのてんかん学研究者に対し、多くの実践的な示唆を与えるものである。

CP4-1 Introduction

○岡西 徹

鳥取大学医学部脳神経医科学講座脳神経小児科学分野

CP4-2 How Editors Make Decisions : What Ultimately Determines Accept, Revise, or Reject

○Aristea S. Galanopoulou

Neurology and Neuroscience, Albert Einstein College of Medicine, Bronx NY, USA

CP4-3 How Reviewers and Editors Evaluate Submitted Manuscripts : Common Red Flags and Helpful Tips

○Zhong Irene Wang

Cleveland Clinic

CP4-4 How to Choose the Right Study Design and Statistical Approach : Aligning Research Questions with Analytical Strategies

○黒田 直生人

ウェイン州立大学小児科

委員会企画 5 (長期計画委員会企画) 第 5 会場 (3F 中会議室 301) 第 2 日/10 月 2 日 (金) 9:00~10:30

日本てんかん学会とてんかん診療のこれから～診療・連携と学会の持続可能性～

The Future Direction of the Japanese Epilepsy Society and the Future of Epilepsy Care in Japan

座長・コーディネーター：宮本 雄策（聖マリアンナ医科大学小児科学）

座長：池田 昭夫（医仁会武田総合病院神経内科てんかん診療センター）

【趣旨・狙い】

コロナ禍における生活習慣の変化、IT 技術の進化、医師の働き方改革の影響などにより、「学会」をとりまく環境も大きく変化している。なぜ学術集会に参加するのか？なぜ専門医資格を取得するのか？近年話題の「直美」という言葉を目にするたび、学会のあり方について意味付けが必要と感じる。長期計画委員会では学会の将来像を考えるためにセミナーを企画した。テーマとして会員数の確保、専門医の地域および診療科における偏在、評議員について、を挙げた。学会としての診療・連携への関与、評議員制度の運用、そしてそもそも学会は持続可能なのか？について議論したい。討論の時間を長く確保したので、様々な世代・立場から忌憚のない発言を頂きたい。

CP5-1 会員数増加に向けた学会の方向性と専門医制度について

Direction of the Japan Epilepsy Society Toward Increasing Membership and the Board Certification System

○白石 秀明

獨協医科大学小児科学

CP5-2 専門医が少ない地域におけるてんかん診療連携と移行期医療：地方に新設されたてんかんセンターの経験から

Epilepsy care networks and transitional care in regions with few epilepsy specialists : experience from a newly established regional epilepsy center

○福山 哲広^{1,2)}

1) 信州大学医学部小児医学教室 2) 信州大学医学部附属病院てんかんセンター

CP5-3 てんかん専門医の地域・診療科偏在と 4 科連携の課題

Regional and Specialty Disparities in Epileptologists and Sustaining Comprehensive Epilepsy Care

○原 恵子^{1,2)}

1) 横浜こころと脳波・てんかんのクリニック 2) 東京科学大学病院てんかんセンター

CP5-4 評議員の選出方法、所属診療科・地域について

A Study on Councilor Selection Methods : Analyzing Medical Departments and Regional Distributions

○宮本 雄策^{1,2)}

1) 聖マリアンナ医科大学小児科学 2) 川崎市立多摩病院小児科

委員会企画 6(移行期医療検討委員会企画) 第 6 会場 (3F 中会議室 302) 第 2 日/10 月 2 日(金) 9:00~10:30

てんかん移行期医療の実践と展望—ファーストステップからチーム医療の構築まで— Advancing Transitional Care for Epilepsy—From Initial Steps to Multidisciplinary Team-Based Care—

座長兼コーディネーター：本田 涼子（国立病院機構長崎医療センター小児科）

座長：岡崎 光俊（市立青梅総合医療センターこころの診療科）

【趣旨・狙い】

てんかんの移行期医療は、単なる診療科変更ではなく、患者・家族のライフステージに応じた継続的支援のプロセスである。しかし実臨床では、移行先の選定や役割分担、患者・家族との意思共有など、多くの課題が存在する。本シンポジウムでは、「ひとりでも始められる移行」の実践から、「多職種・多診療科によるチーム医療の構築」までを具体的に議論する。小児科・成人診療科双方の視点を共有し、診断や治療のみならず、自己決定支援や社会的背景も含めた包括的な移行支援について考えることで、現場で実践可能なてんかん移行期医療のあり方と今後の展望を示したい。

CP6-1 今日からはじめる移行期医療

Getting Started in Transition Care for Epilepsy : The First Step

○本田 涼子

国立病院機構長崎医療センター小児科

CP6-2 少しずつ育てる移行支援（チーム医療へ向けたセカンドステップ）

Transition Support (The Second Step Toward Team-Based Care)

○小池 敬義

久留米大学医学部小児科学講座

CP6-3 受け入れ側からみたてんかんの移行期医療：神経発達症と精神症状を伴う患者のトランジション

Transition Care in Epilepsy from the Adult Provider Perspective : Patients with Neurodevelopmental Disorders and Psychiatric Comorbidities

○谷口 豪、斉藤 聡志、倉持 泉、砂原 真理子、丸山 友佑、小関 ほなみ

国立精神・神経医療研究センター病院てんかん診療部

CP6-4 理想に近づくチーム医療としての移行期支援

Transition Support for Epilepsy : Moving Toward the Ideal Multidisciplinary Team Care

○小林 悠

国立病院機構西新潟中央病院神経小児科

 委員会企画 7(男女共同参画委員会企画) 第 4 会場 (2F 中会議室 201) 第 2 日/10 月 2 日(金) 10:45~12:15

てんかん合併妊娠に苦手意識はないですか?～薬剤選択と生活指導～

Pregnancy Planning and Care for Women with Epilepsy: Medication Selection and Counseling

オーガナイザー: 小林 揚子 (国立精神・神経医療研究センター病院小児科)

座長兼コーディネーター: 下野 九理子 (大阪大学大学院連合小児発達学研究科)

座長: 佐久間 美帆 (東京科学大学大学院医歯学総合研究科)

【趣旨・狙い】

本企画は、男女共同参画委員会と YES-Japan が共同で企画を行う。妊娠可能年齢女性のてんかん診療に関するガイドラインやエビデンスを整理し、その“さらに先”にある実践的な視点を共有することを目的とする。抗てんかん発作薬の選択、バルプロ酸使用の考え方、葉酸補充など、妊娠前から押さえておくべき事項に加え、妊娠中・産後の薬物調整や、産婦人科を含む多職種連携について取り上げる。さらに、思春期から将来の妊娠・出産を見据えた情報提供や意思決定支援のあり方を考え、妊娠可能年齢女性のてんかん診療をライフステージに沿って支えるための理解を深める。リアルタイムアンケートを用いた双方向型の進行により、参加者が自身の診療に即して学べる機会としたい。

CP7-1 ○大谷 英之

静岡てんかん・神経医療センター

CP7-2 ○加藤 昌明

むさしの国分寺クリニック

CP7-3 ○油川 陽子

中村記念病院

CP7-4 ○小島 華林

自治医科大学小児科学

委員会企画 8(社会問題検討委員会企画) 第 6 会場 (3F 中会議室 302) 第 2 日/10 月 2 日(金) 10:45~12:15

てんかんをもつ人の就労支援

Employment support for people with epilepsy

座長兼コーディネーター：奥村 彰久（愛知医科大学医学部小児科）

原 広一郎（静和会浅井病院精神科）

【趣旨・狙い】

本シンポジウムでは、てんかんをもつ人の就労における課題を様々な観点から整理して、当事者が安心して働き続けることができる社会の実現に向けた支援を模索する。まず就労支援の現状の課題を俯瞰した上で、産業医学の見地から企業側が負う「安全配慮義務」について議論する。さらに、不当な解雇や差別的取り扱いを防ぎ、適正な労働条件を確保するための方策について考える。最後に、自立を後押しする具体的な社会資源や制度を紹介する。様々な観点の知見を統合し、てんかんをもつ人の就労支援に繋がる実践的な知見を共有する機会としたい。

CP8-1 てんかん医療と就労支援

Epilepsy care and employment support

○西田 拓司

国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター

CP8-2 てんかんを持つ人の就労における課題と展望：主治医・産業医の連携と法制度の活用

Employment for people with epilepsy: challenges, outlook, co-management between attending physician and occupational physicians, and utilization of legal systems

○山野 光彦^{1,2)}

1) 東海大学医学部医学科総合診療学系 2) 東海大学医学部付属病院脳神経内科

CP8-3 てんかんをもつ人の不当な解雇や差別的な取り扱いを防ぎ、適正な労働条件を確保するための法制度について

Legal framework to prevent unfair dismissal and discriminatory treatment of people with epilepsy and to ensure fair working conditions

○高宮 大輔

むつみ法律事務所

CP8-4 てんかんをもつ人が利用できる社会資源と就労支援の実際

Social Support Systems and Employment Assistance for People with Epilepsy

○赤瀬 瞳子¹⁾、原 広一郎²⁾、岩佐 博人^{2,3)}

1) 浅井病院心理科 2) 浅井病院精神科 3) 千葉県循環器病センターてんかんセンター精神科

委員会企画 9(基礎研究推進委員会企画) 第 4 会場 (2F 中会議室 201) 第 2 日/10 月 2 日(金) 17:00~18:40

発達性てんかん性脳症 (Developmental and Epileptic Encephalopathy : DEE) の病態解明研究 Basic Research on the Pathogenesis of Developmental and Epileptic Encephalopathy (DEE)

座長兼コーディネーター：江川 潔 (北海道大学大学院医学研究院生殖・発達医学分野小児科学教室)

座長：宮田 元 (秋田県立循環器・脳脊髄センター脳神経病理学研究部)

【趣旨・狙い】

発達性てんかん性脳症 (Developmental and Epileptic Encephalopathy : DEE) は、てんかん発作のみならず、発達障害や認知機能障害を伴う重篤な神経疾患群であり、その病態解明は小児てんかん学における重要な課題である。本シンポジウムでは、DEE の疾患概念および動物モデル研究を基盤として、アストロサイト機能異常、患者脳組織における病理学的変化、患者由来幹細胞を用いた細胞生物学的解析、さらには遺伝学的研究まで、各分野の最新の研究成果をご紹介いただく。これらの知見を通じて、多層的な視点から DEE の病態の本質に迫ることを目的とする。基礎研究から臨床研究に至る幅広い最新知見を共有するとともに、DEE におけるてんかん原性および発達障害の機序について議論し、今後の新規治療法の創出につながる研究の方向性を展望したい。

CP9-1 Disease concept of Development and epileptic encephalopathies and latest findings in treatment research using animal models

○Aristea S. Galanopoulou

Neurology and Neuroscience, Albert Einstein College of Medicine, Bronx NY, USA

CP9-2 Astrocytic NKCC1 plays a pivotal role in prevention of seizures by operating the Cl⁻ buffering system at the GABAergic tripartite synapses

○石橋 賢¹⁾、Dao Nguyen Trong²⁾、新明 洋平¹⁾、福田 敦夫³⁾

1) 浜松医科大学医学部神経生理学

2) Department of Psychiatry, 103 Hospital, Vietnam Military Medical University

3) 医療法人社団木野記念会福田西病院

CP9-3 Selective Astrocytic Immaturity in Developmental Epileptic Encephalopathy

○Tomonori Ono^{1,2)}、Ryoko Honda²⁾、Nanako Nishiguchi²⁾、Kazuaki Sato²⁾、Shiro Miura³⁾、Masahiro Ito³⁾、Hajime Miyata⁴⁾

1) Department of Developmental Brain Structure and Function, NHO Nagasaki Medical Center

2) Epilepsy Center, NHO Nagasaki Medical Center

3) Department of Pathology, NHO Nagasaki Medical Center

4) Department of Neuropathology, Research Institute for Brain and Blood Vessels, Akita Cerebrospinal and Cardiovascular Center

CP9-4 乳歯幹細胞による幹細胞生物学的なドラベ症候群の病態解明

Elucidation of the pathogenesis of Dravet syndrome using stem cells from human exfoliated deciduous teeth

○加藤 大樹、Fouad Zakaria、園田 聡一郎、久本 由香里、山座 孝義

九州大学大学院歯学研究院口腔常態制御学講座分子口腔解剖学分野

CP9-5 i-GONAD 法を用いた ATP6V0A1 DEE モデルマウスの作製と病態解析

Generation of ATP6V0A1 DEE model mice using the i-GONAD method and pathological analysis

○青戸 一司

広島大学医系科学研究科（歯）

委員会企画 10(男女共同参画委員会・YES-Japan 合同企画) (スイーツ付き) 第 6 会場 (3F 中会議室 302) 第 2 日/10 月 2 日(金) 17:05~18:35

Cafe 企画：プロフェッショナルと語るキャリアの流儀**Meet the Experts : Diverse Career Pathways in Epilepsy Care**

オーガナイザー：下野 九理子（大阪大学大学院連合小児発達学研究所）

座長兼コーディネーター：小林 揚子（国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター病院脳神経小児科）

座長：泉本 麻耶（大阪大学大学院連合小児発達学研究所）

CP10-1 ○渡辺 雅子

新宿神経クリニック

CP10-2 ○大坪 宏

トロント小児病院

CP10-3 ○柿田 明美

新潟大学脳研究所

CP10-4 ○下野 九理子

大阪大学大学院連合小児発達学研究所

CP10-5 ○松本 理器

京都大学大学院医学研究科臨床神経学

CP10-6 ○岩崎 真樹

国立精神・神経医療研究センター病院脳神経外科

CP10-7 ○藤川 真由

慶應義塾大学医学部大学院医学研究科附属医科学研究連携推進センター

委員会企画 11 (診療ガイドライン作成委員会企画) 第 1 会場 (4F マリンホール) 第 3 日/10 月 3 日 (土) 14:20~15:50

てんかん診療ガイドライン 2026

Japan Epilepsy Clinical Guideline 2026

座長兼コーディネーター：松本 理器（京都大学大学院医学研究科臨床神経学）

赤松 直樹（国際医療福祉大学医学部脳神経内科）

【趣旨・狙い】

てんかん診療ガイドライン 2026 は、日本てんかん学会と日本神経学会との合同ガイドライン委員会によって 8 年ぶりに改訂された。2026 ガイドラインの全容について本企画で説明する。すべての会員にとって有用なセッションである。

CP11-1 てんかん診療ガイドライン 2026 の作成方法

Development Methodology for the 2026 Clinical Practice Guidelines for Epilepsy

○上原 平^{1,2,3)}

- 1) 国際医療福祉大学脳神経内科 2) 福岡山王病院脳神経内科
- 3) 福岡山王病院てんかん・すいみんセンター

CP11-2 抗てんかん発作薬の選択

Selection of antiseizure medications for patients with epilepsy

○神 一敬

東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野

CP11-3 てんかん重積状態

Management of Status Epilepticus

○溝渕 雅広^{1,2)}

- 1) 南一条脳内科 2) 中村記念病院てんかんセンター

CP11-4 てんかんと妊娠 Up to Date

Epilepsy and Pregnancy Up to Date

○大谷 英之

静岡てんかん・神経医療センター

CP11-5 てんかんと精神症状：多層的理解に基づく包括的診療戦略（てんかん診療ガイドライン 2026）

Epilepsy and Psychiatric Symptoms: Multilayered Perspectives for Comprehensive Care (JES Clinical Guidelines 2026)

○谷口 豪¹⁾、辻 富基美²⁾、西田 拓司³⁾

- 1) 国立精神・神経医療研究センター病院てんかん診療部 2) わかやま友田町クリニック
- 3) 国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター

CP11-6 自己免疫性てんかん

Autoimmune epilepsy

○下竹 昭寛

国立病院機構宇多野病院

CP11-7 てんかん診療ガイドライン改訂における外科治療関連 CQ の概要

Overview of surgery-related clinical questions in the revised epilepsy clinical practice guideline

○國井 尚人¹⁾、井林 賢志¹⁾、谷 直樹²⁾、前原 健寿³⁾、貴島 晴彦²⁾

1) 自治医科大学脳神経外科 2) 大阪大学大学院医学系研究科脳神経外科 3) 東京共済病院

CP11-8 抗てんかん発作薬：副作用における注意点と血中濃度モニター

Antiseizure medication ; side effects and monitoring of serum concentration

○金村 英秋

東邦大学医療センター佐倉病院小児科

委員会企画 12(Yes Japan 企画) 第 5 会場 (3F 中会議室 301) 第 3 日/10 月 3 日(土) 14 : 20~15 : 50

その発作どう読む？—クイズで学ぶ症候学とエキスパートの思考回路

Quiz session : Inside the experts' thought process on seizure semiology

オーガナイザー：小林 揚子 (国立精神・神経医療研究センター病院小児科)

座長兼オーガナイザー：小玉 聡 (Department of Neurology, University of Iowa)

座長：岡崎 洋介 (岡山大学病院脳神経外科)

CP12-1 ○時村 暁

国際医療福祉大学三田病院脳神経内科

CP12-2 ○池谷 直樹

横浜市立大学医学部脳神経外科学

CP12-3 ○秋庭 崇人

順天堂大学医学部附属順天堂医院てんかんセンター

CP12-4 ○飯村 康司

順天堂大学脳神経外科

CP12-5 ○林 貴啓

国立精神・神経医療研究センター

CP12-6 ○岩崎 真樹

国立精神・神経医療研究センター病院脳神経外科

第 21 回てんかん学研修セミナー 第 2 会場 (2F メインホール A) 第 3 日/10 月 3 日(土) 9:00~11:45

座長兼コーディネーター：金村 英秋（東邦大学医療センター佐倉病院小児科）

第 1 部

ETS-1 LGI-ADAM 複合体とてんかん病態

The LGI1-ADAM22 protein complex and epileptic disorder

○深田 正紀、深田 優子

名古屋大学大学院医学系研究科

ETS-2 てんかんの分類と診断

Classification and Diagnosis of Epilepsy

○重藤 寛史^{1,2)}

1)九州大学大学院医学研究院保健学部門検査技術科学分野 2)九州大学病院脳神経内科

ETS-3 自己免疫機序が関与するてんかん

An Overview of Autoimmune Epilepsy

○三枝 隆博

大阪市立総合医療センター脳神経内科

第 2 部

ETS-4 単一遺伝子異常によるてんかん—分子病態理解に基づく精密医療へ—

Monogenic Epilepsies : Molecular Pathophysiology and Precision Medicine

○大守（川崎） 伊織

岡山大学学術研究院教育学域

ETS-5 てんかん焦点切除術の考え方と実際—てんかん原性域の同定から切除範囲の設計・術後管理まで—

Resective Epilepsy Surgery : From Epileptogenic Zone Identification to Resection Design and Postoperative Management

○伊藤 陽祐¹⁾、福多 真史¹⁾、太田 智慶¹⁾、増田 浩¹⁾、大石 誠²⁾

1)国立病院機構西新潟中央病院機能脳神経外科 2)新潟大学脳研究所脳神経外科

ETS-6 今後てんかん治療において重要なのは、リカバリー的アプローチと多職種連携

Recovery-Oriented Approaches and Multidisciplinary Collaboration in Future Epilepsy Care

○福智 寿彦

すずかけクリニック

DBS 指定講習会 第 6 会場 (3F 中会議室 302) 第 3 日/10 月 3 日(土) 9 : 25 ~ 11 : 40

座長兼コーディネーター：國枝 武治（愛媛大学大学院医学系研究科脳神経外科学）

9 : 25 ~ 10 : 25

DBS-1 ANT 視床前核へのリード留置について

○石崎 友崇

名古屋大学大学院医学系研究科脳神経外科

10 : 40 ~ 11 : 25

DBS-2 ANT-DBS の刺激調整について

○大谷 啓介

自治医科大学脳神経外科

11 : 25 ~ 11 : 40

ハンズオン

VNS 講習会 第 6 会場 (3F 中会議室 302) 第 3 日/10 月 3 日(土) 13 : 20 ~ 15 : 10

座長兼コーディネーター：國枝 武治（愛媛大学大学院医学系研究科脳神経外科学）

13 : 20 ~ 14 : 10

VNS-1 内科系コンテンツ

○中川 裕康

浅ノ川総合病院

14 : 10 ~ 14 : 55

VNS-2 外科系コンテンツ

○増田 洋亮

筑波大学医学医療系脳神経外科

14 : 55 ~ 15 : 10

ハンズオン

SEEG 講習会

第 6 会場 (3F 中会議室 302) 第 3 日/10 月 3 日 (土)

15 : 20 ~ 17 : 20

座長兼コーディネーター：國枝 武治 (愛媛大学大学院医学系研究科脳神経外科学)

SEEG-1 SEEG 内科系 内科総論

○小林 勝哉

京都大学医学部附属病院脳神経内科

SEEG-2 SEEG 内科系 内科症例

○宇田 武弘

大阪公立大学脳神経外科

SEEG-3 SEEG 外科系 外科手技

○池谷 直樹

横浜市立大学医学部脳神経外科学

SEEG-4 SEEG 外科系 外科合併症

○伊藤 陽祐

国立病院機構西新潟中央病院